

落成式の祝辞スピーチの代筆サンプル

只今ご紹介にあずかりました、東海建設社長の岩田義男でございます。本日は、ホテル中日本イン名古屋金山の落成、誠におめでとうございます。そして、このようなお祝いの席にお招きいただきまして、誠にありがとうございます。3日後のオープンに先立ちまして、私より祝辞を述べさせていただきます。

私ども東海建設はグループ会社を含め、中日本イン名古屋金山の設計から工事まで全てを担当させていただきました。中日本イン金山は、あちらにお座りになられている中日本鉄道の高橋社長自身がリーダーとなって、ホテル事業を展開し始めて、ちょうど5つめのホテルとなるわけでございます。高橋社長は、ビジネスホテル業界の常識を打ち破った3つのポリシーを掲げて、ホテル事業を展開されています。その3つとは、「安い、ゆったりできる、高級感のある」です。そして、鉄道事業者のメリットである、今流行りの「駅ナカ」を有効活用し、駅と直結していて、なおかつこの3つのポリシーを反映したホテルを展開されています。

建設業者から言わせてもらおうと、最近では、効率化を求めすぎた結果、お客様が本当に満足されている空間を作ってきたのかどうかという自問自答に悩んできました。そのような中、高橋社長のポリシーに感銘を受け、ホテル事業展開と一緒に遂行させていただいているわけでございます。中日本イン金山は、他の中日本インよりも高級感とアメニティ重視のホテルとして完成しました。例えば各階にラウンジ兼喫煙ルームを設け、レストランや客室も広々として、非常に快適な空間となっております。設計、建設を担当させていただきました弊社にとっても、誠に光栄でございますし、建設業者冥利に尽きるものがあります。

延べ面積が大きいとはいえないハンディもありましたが、高級感とアメニティ重視の高橋社長のご意向を実現することができ、本当に素晴らしいホテルとなりました。

金山は、隣は新幹線の名古屋駅、そしてこの駅はセントレアに直結するという非常に中核となるターミナルであります。地域の皆様はもちろんのこと、ビジネスのお客様、ご旅行のお客様に愛されるホテルでありますことをお祈り申し上げますとともに、お祝いの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。